

静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター

令和5年度 研究発表会

施設公開同時開催

日時:令和6年3月4日(月) 午前9時～午後5時

場所:静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター

(浜松市浜名区新都田一丁目3番3号)

【内容】

1. 研究成果発表

・特に知って頂きたい内容についての3つのキーノートスピーチ

- 材料分析の依頼に際して知っておいて頂きたいこと
- スマールスタートで始める IoT 導入 -当センターの支援内容と導入事例-
- 設計開発を効率化するデジタルものづくり技術
-デジタルものづくりセンターの紹介と当センターの支援内容-

・当センターの研究成果 16 テーマの報告 ※発表プログラム参照

・IoT推進ラボ、浜松都田インキュベートセンター入居企業の企業セッション及び展示

2. 施設公開

・施設・機器の見学(新規導入した機器を中心に見学頂きます)

当日見学できる機器(予定)

金属3D プリンタ、自動車部品用 EMC 試験サイト、流体解析・熱構造解析シミュレーションシステム、ハイブリッドレーザー顕微鏡、画像測定機、2 μ mレーザー、蛍光X線膜厚測定分析装置、粒度分布測定装置、速度制御熱分析装置、精密万能材料試験機(250kN)、ロングライフフェードメータ、IoT 推進ラボ

3. お気軽相談会

・業務で抱える課題や相談先の分からない問題等について、センター長又は研究統括官が相談に乗ります。

※事前申込みをお願い致します。当日の相談時間を調整させて頂きます。

【参加申込み・事前登録】

こちらのサイトから事前登録をお願いします(2月5日から登録できます)。

https://apply.e-tumo.jp/pref-shizuoka-u/offer/offerList_detail?tempSeq=11020

事前登録された来場者先着 200 名様に、金属3Dプリンタ造形サンプルを進呈!

【問合せ先】

浜松工業技術支援センター 技術支援担当

電話番号:053-428-4152

メールアドレス:somuhjojohamagi02@mm.pref.shizuoka.jp

詳細情報はこちら:<https://www.iri.pref.shizuoka.jp/info/38246/>

事前登録サイト



浜松工業技術支援センター 令和5年度 研究発表会 プログラム（タイムテーブル）

午前の部

9:00 開会挨拶		
9:05～10:30 材料分野・金属3Dプリンタ関連技術		
A1	材料科における研究開発・技術支援への取り組み	材料科長 木野 浩成
キートンスピーチ1 (20分) 材料分析の依頼に際して知っておいて頂きたいコト		材料科 吉岡 正行
A2	バウシニング効果及び二軸引張測定 ー精密万能材料試験機の紹介ー	材料科 高木 誠
A3	金属3Dプリンタを活用したものづくり支援のための 積層造形技術開発	材料科 田光 伸也
A4	ステンレス鋼の積層造形物の内部欠陥にレーザ条件が与える影響	材料科 植松 俊明
A5	アルミニウム合金の積層造形に造形雰囲気と与える影響	材料科 望月 智文
A6	アルミニウム合金の積層造形物の形状評価	機械電子科 大澤 洋文
10:30～10:40 休憩		
10:40～11:15 (IoT分野 / 静岡県IoT推進ラボ出展企業セッション)		
キートンスピーチ2 (20分) スモールスタートで始めるIoT導入 ー当センターの支援内容と導入事例ー		機械電子科 太田 幸宏
企業セッション1 工場の生産・検査ラインの自動化に役立つ空圧機器		SMC株式会社
企業セッション2 LPWA(低消費電力広域通信)を活用したIoT導入		ナルテック株式会社
企業セッション3 デンソーウェアが提案するIoTシステム		デンソーウェア株式会社
11:15～12:00 所内施設見学・ポスターセッション・企業展示		

午後の部

13:00～14:15 機械電子分野/企業セッション		
P1	機械電子科における研究開発・技術支援への取り組み	機械電子科長 長谷川 和宏
キートンスピーチ3 (20分) 設計開発を効率化するデジタルものづくり技術 ーデジタルものづくりセンターの紹介と当センターの支援内容ー		機械電子科 長津 義之
P2	トポロジー最適化ソフト“nTop”を用いた形状最適化設計	機械電子科 山口 智之
P3	EMC試験における伝導妨害波測定の始業前点検法 ー疑似電源回路網の故障の一例ー	機械電子科 山田 浩文
P4	電波到来方向の簡易的推定技術の検討 浜松都田インキュベーションセンターの紹介	機械電子科 上野 貴康 研究統括官 伊藤 芳典
企業セッション4 (浜松都田インキュベーションセンター入居企業) 軽トラックの荷台に着脱可能なキャビン「ナミレBOX」		合同会社ナミレ
14:15～14:30 休憩		
14:30～15:30 繊維高分子材料分野/光分野		
P5	繊維高分子材料科における研究開発・技術支援への取り組み	繊維高分子材料科長 鈴木 重好
P6	生分解性繊維の紡糸条件の検討と分解性評価	繊維高分子材料科 大木 結以
P7	遠州織物を利用したリサイクル紙の開発とその活用方法	富士・製紙科 伊藤 彰
P8	光科における研究開発・技術支援への取り組み	光科長 渥美 博安
P9	光学設計やシミュレーション技術による表面傷検出装置と図形投影光学素子の性能向上事例	光科 志智 亘
P10	光造形で作製した微細光学素子の形状評価	光科 中野 雅晴
15:30～17:00 所内施設見学・ポスターセッション・企業展示		

Ver.20240202

キートンスピーチは20分、各科の取組み説明・企業セッションは5分、それ以外の発表は12分となります。